

地域のハブ機能発揮へ

4月に3カ年第7次中期事業計画を始動した埼玉県信保協。4月26日に会長に就任した砂川裕紀氏は「事業者の強みを見いだし、伸ばしていくのが新中計のポイント。事業者にはコロナ後の新たな事業環境に適応し、発展的に取り組んでももらいたい。そのため、経営力向上支援、経営者保証に依存しない融資、経営支援・再生支援の強化などに重点的に取り組む。

“地域のハブ機能”を十分に発揮し、金融機関・商工団体・中小企業活性化協議会などと緊密に連携しながら、事業者に最適な支援を届けていきたい」と抱負を語る。



砂川会長